

建設産業戦略会議 議事概要

日 時：平成24年6月22日（金）13：00～15：00

場 所：中央合同庁舎2号館16階国際会議室

○ 奥田副大臣より「被災地での対応を全国的な制度として応用していくことなども含め、取りまとめに向けて議論を進めてもらいたい。」旨の挨拶があった。

○ 委員から以下のような発言があった。

（東日本大震災への対応の検証）

- ・ 今回の対応の記録を検証し、今後の災害への対応のために知恵を出すといった観点が必要。

（適正な競争環境の整備）

- ・ 競争すべきところと、すべきでないところを峻別して、競争すべきところで競争することが重要。それによって公正な競争が実現できる。
- ・ 下請契約における支払の透明性を確保するためには、工事見積条件の明確化も重要であり「施工条件・範囲リスト」の活用を図ることが必要。
- ・ 下請契約などにおいて適正な市場価格（時価）で契約されることが重要。

（総合的な担い手の確保・育成支援）

- ・ 戦略的広報については、「働きがい」を具体的に伝えることが重要。
- ・ 多様なキャリアパスを示していくことが重要。特に、基幹技能者制度については、国や業界が積極的に普及を図る必要。
- ・ 地域において今後の社会資本整備について計画・検討する際、適切な維持更新のために必要な人材確保についても考える必要がある。

（プロジェクトに対応した円滑な契約のための支援）

- ・ 多様な契約形態への展開という方向性を示すことがまずは重要であり、具体化に向けては個別に検討していくことが必要。
- ・ CM方式については、多様な契約形態の一つであるが、発注者支援に加え、専門工事業者等の評価や法定福利費の確保にも資する可能性。

（海外展開支援策の強化）

- ・ 地方・中小企業への支援とともに、大企業についても、マネジメント力の強化等が必要であり、研修等を充実できないか。
- ・ 海外市場ではオールジャパンで外国企業と競争するという観点も必要。

（時代のニーズに対応した施工技術・品質確保）

- ・ 一式工事のうち一定分野を施工できる仕組みについては、一定分野を施工できる技術者の要件について慎重に検討することが必要。

【今後の予定】

○ 次回は7月上旬に開催予定。